

(特非) 自然回復を試みる会・ピオトープ孟子

未来遺産登録地孟子不動谷トンボ相復活& 人材育成事業

イベントの 延べ参加者数	28人
トンボ確認種数	35種
活動の全体目標 に対する達成度	85%



トンボ調査風景-1

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 育成人員は4名で、1名少なかったが、かなり高いスキルの調査員が育成できたと自負している。
- 工夫** 学生の募集時、1年で卒業する4回生ではなく、1、2回生を対象に募集したことにより、参加者は少なかったものの、2年間継続して参加してもらえたことで、スキルを確保できたと思っている。



課題

耕作放棄地を湿地環境として保全するため、活動拠点内の借用耕作放棄地を冬水田んぼ的湿地環境に改修し、トンボ類の生息環境の安定化を図る。トンボ調査を通じて、若い調査員育成の実現。

活動内容

和歌山大学システム工学部生による、孟子不動谷でのトンボ調査及びトンボ成虫・幼虫の分類技術習得講座を開催した。



トンボ調査風景-2

今後の課題

より多くの人数の受講生獲得を行うことにより、里山の生物多様性保全に興味を持つ若者を増やしたいと思う。